



薪能 原作・脚本 桜井真樹子

ハイパー能

# 雪の華

峰々を走る回峰行者は、笹百合のもとに立つ女と言葉を交わす。  
やがて行者の心に前世の傷がよみがえる。  
自分を訪ねてきてくれた女が前世の姉だった。  
姉は星の光となり、行者のもとに雪の華が舞い降りる。

profile



(シテ) 桜井真樹子

龍笛を芝祐靖に、天台宗大原流声明を中山玄晋に師事。1997年「もののけ姫」のエピソードを見て、白拍子の復元を始める。雅楽の左舞、インドネシア舞踊の「スリンピ」を習得し、全国の中世の舞踊を現地調査し、白拍子の歌謡に振り付けを考案していった。「鬘多々良(びんたたら)」「水猿曲(みずのえんきょく)」「蓬萊山(ほうらいざん)」「廻惚(かいこつ)」など、20年に渡り公演を続ける。また2007年より創作能「マンハッタン翁」「橋の姫」「岸边の大臣」などを発表。2019年よりハイパー能「沖繩平家物語」「睡蓮」「投石」を発表する。まきこの会 <http://www.sakurai-makiko.com/> ホームページ <http://www.zipangu.com/sakurai/>



(ウキ) 吉松章

舞台俳優として活動中、リチャード・エマート先生に喜多流の謡と舞を習う。能楽の謡や舞を現代的に解釈し、舞台化。「パタヤの売春婦」「マッチ売りの少女」等がある。音楽詩劇研究所公演では、東京、ロシア、アルメニア、カザフスタン、韓国にて、謡と舞を使ったパフォーマンスで参加。



(地謡・グレゴリンチャート) 櫻井元希

広島大学教育学部第四類音楽文化系コース、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。同大学院古楽科をバロック声楽で修了。声楽を枝川一也、益田遙、寺谷千枝子、櫻田亮の各氏に、バロック声楽を野々下由香里氏に、合唱指揮をアレクサンダー・ナジ氏に、指揮を今村能氏に、古楽演奏を花井哲郎氏に、ヴォイストレーニングを小久保よしあき、岩崎ひろき各氏に、特殊発声を徳久ウィリアム氏に、スクリームをmahone氏に、インド古典音楽を寺原太郎氏に、武術を光岡英穂氏に師事。Salicus Kammerchor、Ensemble Salicus、Chor Eleusisを主宰。フォンス・フロリス古楽院、コエグイ合唱団講師。東京藝術大学パッサカントークラブ2013-2015年度演奏委員長。ヴォーカル・アンサンブル アラミレ、リーダー。Ensemble XENOS、The Cygnus Vocal Octet、ジャパンチェンパークワイア、ヴォーカル・アンサンブルカペラ、古楽アンサンブル コントラポント等に所属。



(タンタン、スリン、クマシ) 加藤駿吾

東京音楽大学楽器専攻打楽器、同大学大学院音楽文化研究科修士課程多文化音楽研究領域ジャワガムラン卒業。現在、インドネシアの民族音楽「ジャワガムラン」の演奏を中心に幅広く活動している。これまで、打楽器を水間ゆみ、窪田健志、柴原誠、神谷百子、西久保友広、ジャワガムランを木村佳代、樋口なみに師事。ジャワガムラングループ「ランバンサリ」メンバー、浜松市楽器博物館学芸員。



(ハウロ、ポリゾーラ) 石崎元弥

国立音楽大学卒業。打楽器を神田佳子、福田隆の各氏に師事。ルクセンブルクやアイルランドなど、これまでに様々な国で行われたコンペティションにて優秀な成績を残す。クラシックのみならず、ジャンル問わず幅広く演奏活動を行う。



神奈川県川崎市多摩区枳形7-1-4

- 「樹と虫が仲良し」の観察コース
- 健脚コース
- 地層探検コース
- 春のお花見スポット
- 秋の紅葉コース
- 野鳥観察コース
- 「サクラ」スポット



枳形山の標高は84mです

ご予約・お問合せ:まきこの会事務局  
makikoclub2022@gmail.com

